

ホームページのご案内

▶ <https://www.fujikyū-corp.co.jp/>

当社ホームページでは、会社情報や店舗情報に加え、「株主・投資家向け情報ページ」でプレスリリースや決算資料などの各種IR関連資料などの最新情報を掲載しています。
是非ご利用ください。

藤久 I R

検索

[トップページ](#)



株主・投資家情報ページ

UD
FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



クラフトワールド
CRAFTWORLD

クラフトパーク
CRAFT PARK

craft  loop

Charün*Charün

st-torému

Craft Heart
Tokai.com

Shugale

ジューストパートナー

www.crafttown.jp/



藤久株式会社
証券コード 9966

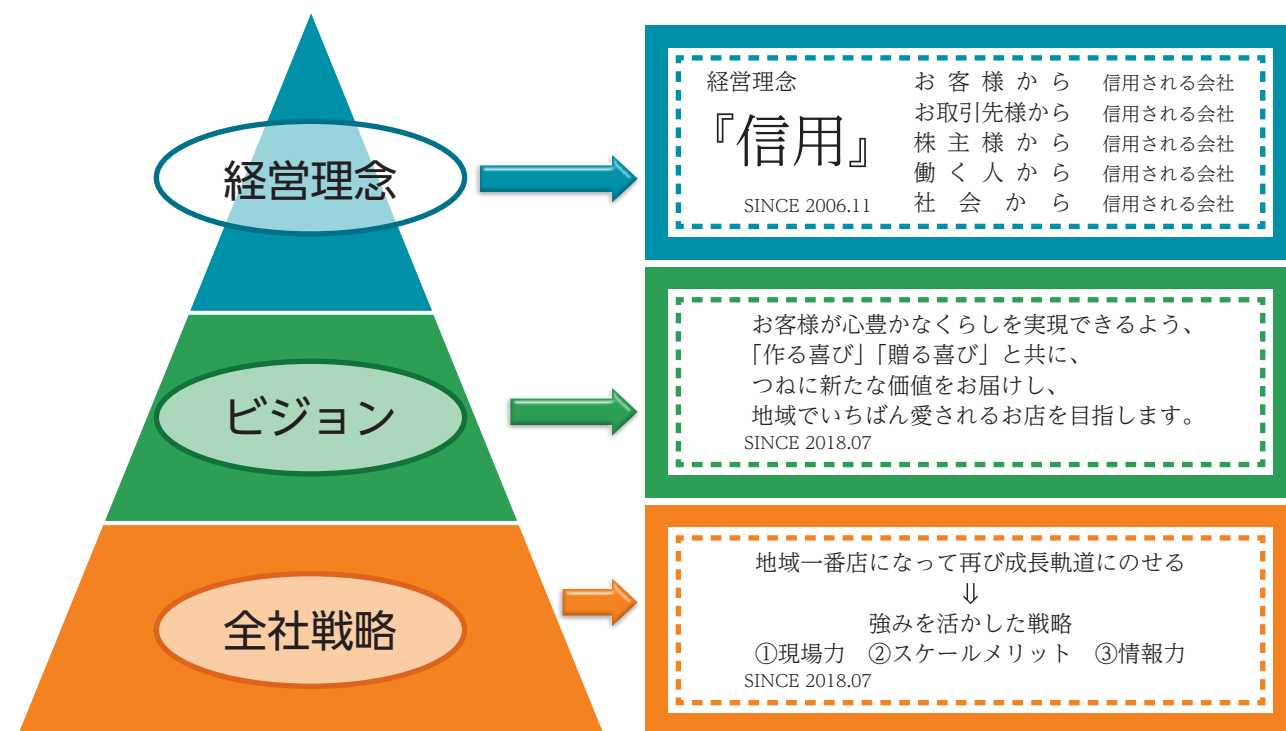


代表取締役社長 後藤薫徳

「お客様の心豊かなくらしの実現」を目指し、藤久再建に立ち向かいます。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに当社第59期（2019年6月期）事業年度における事業の概況についてご報告申し上げます。

なお、当社は、2018年7月1日より「構造改革」に取り組み、新生藤久としてスタートいたしました。新生藤久におきまして、「経営理念」「ビジョン」「全社戦略」を掲げ、この3つを全従業員が深く信じ、信念にまで高めることで、お客様から愛され、選ばれ続けるお店を作り上げてまいります。「お客様の心豊かなくらしの実現」が我々の誇り高き使命であると捉え、藤久再建に向け、全力で立ち向かっていく所存であります。



当期の概況について

当事業年度における国内景気情勢は、企業収益や雇用・所得環境等の改善を背景に、引き続き緩やかな回復基調で推移しました。一方で、個人消費は持ち直しつつあるものの消費者マインドが弱含むほか、国外政治・経済の不確実性が増すなど、先行きは依然不透明な状況で推移しました。

手芸・服飾品業界におきましては、業種や業態の垣根を越えた企業間競争が継続するなか、消費者の節約志向は根強く、依然として厳しい経営環境となりました。

このような情勢のもとで、当社では、当事業年度から、役員の担当替えを含む大幅な組織変更、出退店政策の見直し、戦略推進プロセスの仕組み化などの「構造改革」に取り組んでまいりました。また、会員制度の大幅な見直しやオムニチャネルの構築などにより、会員数及び来店客数の増加を図ってまいりました。既存店売上高は、第2四半期以降に底を打ち、回復傾向にあるものの、お客様に来店していただくことを目的とした政策や積極的な在庫処分を推し進めたため、利益面では厳しい推移となりました。

以上の結果、営業成績につきましては、売上高は189億39百万円（前事業年度比6.1%減）、営業損失は15億32百万円（前事業年度は7億72百万円の営業損失）、経常損失は15億16百万円（前事業年度は7億62百万円の経常損失）となりました。収益性の低下に伴う減損損失13億17百万円を特別損失に計上しましたことから、当期純損失は29億19百万円（前事業年度は15億40百万円の当期純損失）となりました。

成長に向けた取組み

「構造改革」を推し進め、「地域でいちばん愛されるお店」を作り、業績の回復を図ります。

今後の見通しにつきましては、企業収益及び雇用・所得環境の改善が続くなかで、政府や日銀の各種政策の効果もあり、緩やかな景気回復基調が継続することが期待されます。一方で、10月に予定される消費増税の影響及び海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響など、企業にとっては不透明な経営環境が続くものと思われます。

このような状況のもと、当社では、2018年7月より「構造改革」に取り組んでまいりました。今後は、その成果を確固たるものとすべく『藤久リボンプラン』として、より一層踏み込んだ施策を実施し、2021年6月期での黒字転換を目標としております。具体的には、①不採算店舗を、3年間で100店舗を目途として積極的に閉鎖するほか、本部

人員のスリム化等のリストラクチャリングによる生産性の向上 ②オムニチャネルによる、実店舗とECとの相互送客の実現 ③物流システムの見直しによる、輸送業務の効率化 ④店舗運営部門の子会社化による意思決定の迅速化 ⑤利用予定のない自社所有固定資産の売却 ⑥従来の取引の見直しによる仕入コストの低減、などを強力に推進してまいります。

そして、昨年制定したビジョン「お客様が心豊かなくらしを実現できるよう、『作る喜び』『贈る喜び』と共に、つねに新たな価値をお届けし、地域でいちばん愛されるお店を目指します。」を実現するために、当社の強み（①現場力 ②スケールメリット ③情報力）を活かした「全社戦略」を全役職員が共有し、邁進することで、会社の収益力を高め、業績の回復を図る決意であります。

店舗販売部門につきましては、次の3つを重点目標として定め、営業利益の回復に向けて取り組んでまいります。

- ① 会員獲得の強化
手芸専門店における会員制度は、当社の重要な経営基盤であります。会員制度については、会員様の利便性が向上するよう見直し、会員制度の価値とお客様満足度を高め、会員獲得の強化につなげてまいります。
- ② 「トークイグループアプリ」ダウンロード数・「LINE@」登録者の獲得と連携強化
手芸専門店において展開する「トークイグループアプリ」ダウンロード数及び生活雑貨専門店に展開する「LINE@」の登録者数を増やすとともに、店舗会員制度との連携率の向上を推し進めます。連携率の向上については、登録方法の簡略化や連携特典を見直すほか、お客様が親しみを持てるコンテンツを拡充してまいります。
- ③ 品揃えの強化と価格の見直し

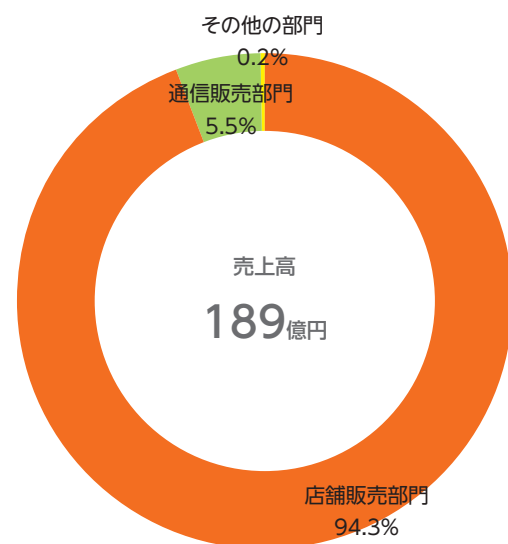
手芸専門店では、定番商品の見直しを行うとともに、地域の適正価格を把握し、地域に即した品揃えと価格の見直しを進めてまいります。また、「競合店に勝てる強い店」をテーマとし、品揃えから内装仕掛けに至るまで抜本的に見直したモデル店改装を実施し、その効果を全店に波及させてまいります。

通信販売部門につきましては、手芸用品通販の自社サイトを統合した「トーカイドットコム」については、「日本最大級の品揃え」をコンセプトとして商品の拡充を図り、実店舗と自社サイトの相互送客を強化してまいります。カタログ通販は、手芸用品通販、生活雑貨通販ともに厳しい状況が続くことが予想されるため、売上高の確保と共に、収益を確保できるようコスト管理を徹底してまいります。また、営業課においては各種法人・団体への積極的なアプローチを推進し、売上高の増大を図ってまいります。

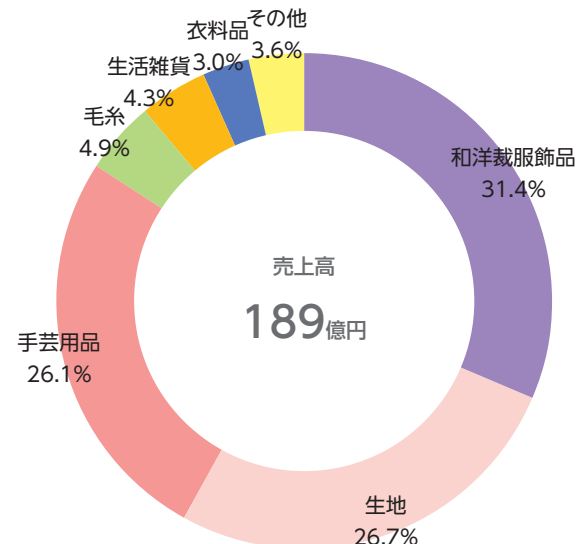
(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2018年6月期	20,170	△772	△762	△1,540
2019年6月期	18,939	△1,532	△1,516	△2,919

●事業部門別の売上構成比



●商品別の売上構成比



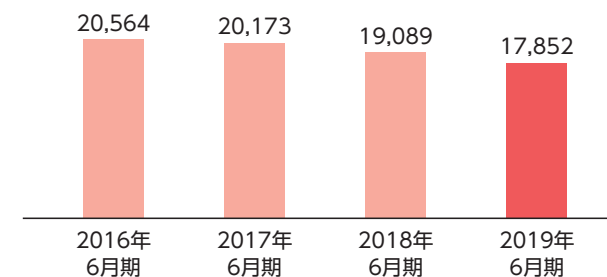
◆店舗販売部門

店舗運営面につきましては、「①お客様満足度の向上、②『トーカイグループアプリ』ダウンロード数と『LINE@』登録数の目標達成、③使命（役割）を果たす」を重点目標とし、既存店の立て直しに取組んでまいりました。お客様満足度の向上策としては、手芸専門店において、会員価格の見直し及びポイント制度の大幅見直しを実施しましたほか、会員様向けDM（ダイレクトメール）ハガキのご利用回数を、従来はセール期間中1回であったものを、セール期間中に何回でもご利用いただけるよう改善しました。また、セール向けスペシャルプライス品の設定やポイント付与の仕組みの見直しなど、会員様の利便性向上を図りました。DMセールの見直しにより、セール期間中の売上目標をほぼ達成するなど一定の成果を得られました。しかしながら、DMセールは既存の会員様向けであり、新規入会者増に繋がらないことから、当第3四半期会計期間以降、会員様以外の一般のお客様の来店増加を目的とした、折込みチラシによる販促を追加実施いたしました。生活雑貨店舗においては、引き続き「LINE@」登録者獲得の強化を推進しましたほか、地域密着型の店舗を目指し、店舗周辺地域で開催される行事に伴い発生する需要を、各店舗の売場作りに反映する取組みを実施しました。「トーカイグループアプリ」については、ダウンロード数の目標を見直すと共に、店舗有料会員様との連携に重点を移して、連携率の向上に取組んでまいりました。

これらの結果、既存店売上高の昨年対比は、当事業年度末にかけて回復傾向となりましたが、新規出店を抑制し、不採算店の退店を推し進めた結果、店舗数が23店舗の純減となったことなどもあり、当部門の売上高は、178億52百万円（前事業年度比6.5%減）となりました。

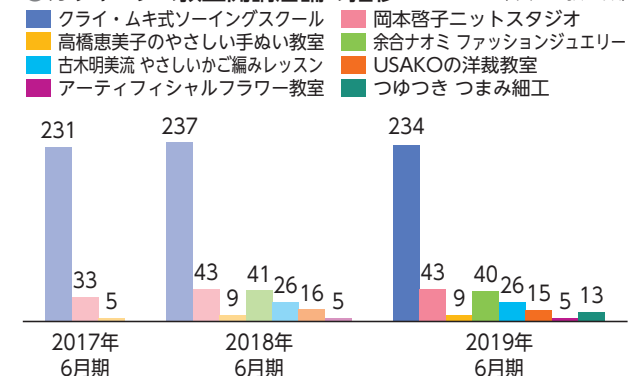
●店舗販売部門の売上高推移

(単位：百万円)



●カリキュラム教室開講店舗の推移

(単位：教室数)



「クラフトハートトーカイ」、「クラフトパーク」、「クラフトループ」及び「サントレーム」のチェーン展開に当たりましては、当社独自のオーナーシステム制販売委託の方法を採用しております。このシステムは、オーナーを希望される個人事業者へ店舗運営を委託する制度であり、店舗、什器及び商品は当社に帰属することから、新規に開業する場合と比較して設備投資や商品仕入れのための資金負担が少なくなります。また、Web店舗システムやEOS等による商品管理と販売管理の支援システムも充実しております。

◆通信販売部門

通信販売部門では、BtoB市場へのアプローチによる新規顧客の開拓を目的として、2018年7月1日付で営業課を新設し、各種法人や団体へ積極的な営業活動を展開しました。また、オムニチャネルの第1ステップとして稼働した「トーカイグループアプリ」からのお客様の利便性を高めるため、実店舗の品揃えを通販サイトの品揃えに反映させましたほか、手芸通販自社サイトの統合を実施しました。カタログ通販は手芸用品、生活雑貨ともに前年を下回りましたが、手芸通販サイト「トーカイドットコム」及び生活雑貨通販サイト「Eサントレーム」では売上高が前年を上回りました。これらの結果、当部門の売上高は、10億46百万円（前事業年度比0.7%増）となりました。

WEBサイトのご紹介

〈情報サイト〉



当社が運営するクラフト店舗に関する情報サイトです。取扱う商品や店舗で開催される講習会情報のほか、ハンドメイドのレシピや手芸の素朴な疑問に答えるコーナーなど、手づくりを楽しめる方に向けた情報発信を行っております。

〈通信販売・ECサイト〉



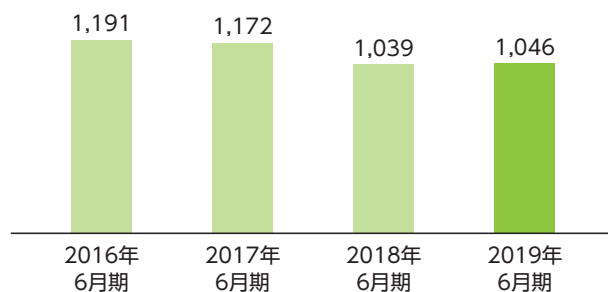
店舗会員システムと連携したECサイトです。会員様は、店舗と同じように割引価格でお買い物できるほか、ポイントも共通でご利用いただけます。



アクティブシニアの生活を楽しくする便利な商品や健康グッズが揃う、高齢化社会に標準を合わせた総合通信販売です。ダイレクトメール発送によるご案内のほか、インターネットでのご注文も承っております。

●通信販売部門の売上高推移

(単位：百万円)



〈コミュニティサイト〉



「作って、見せて、楽しむ」がコンセプトのWEBサイトです。お客様が作った手芸・手づくり作品を投稿したり、投稿された作品へコメントできます。また、各種コンテストやさまざまな特集を開催しております。その他、新商品やオリジナル商品をお試しいただくモニター募集企画なども行っております。



品揃え日本最大級の4万点以上の手芸材料・道具が揃うECサイトです。楽天・Yahoo!・Amazonなど各モールにも出店しています。



かわいいお弁当箱や飾っても使っても素敵なインテリアグッズなど、家族の生活を楽しくする雑貨やおしゃれな家電を提案するECサイトです。

「トーカイグループアプリ」リリース！

公式アプリ「トーカイグループアプリ」を2018年5月30日より提供開始いたしました。



「トーカイグループアプリ」は、クラフトグループ店舗の会員システム「クラフトメンバー」の会員証機能を搭載しており、会員の方は、ご登録いただくことで、クラフトグループ全店舗とオンラインショップ「クラフトハートトーカイドットコム」で会員特別価格でお買い物をしていただだけ、ポイントサービスも受けられます。

その他、新商品情報やお得な割引クーポン配信、スクラッチゲームによる特典サービスなど、お客様に楽しんでいただけるコンテンツをご提供いたします。

2019年6月末時点で約380,000ダウンロードとなりました。



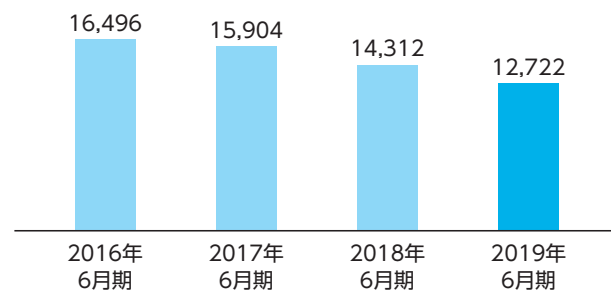
Point 1
資産

流動資産は、主に商品が1億54百万円増加しましたものの、現金及び預金が1億32百万円減少したことなどにより、前事業年度末に比べ52百万円減少し98億11百万円となりました。

固定資産は、減損損失の計上に伴い、建物が6億68百万円、土地が3億6百万円、リース資産が2億59百万円とそれぞれ減少しましたことなどにより、前事業年度末に比べ15億37百万円減少し29億10百万円となりました。

この結果、当事業年度末の資産合計は、前事業年度末に比べ15億90百万円減少し、127億22百万円となりました。

●総資産 (単位：百万円)



◆貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	2018年 6月期	2019年 6月期
資 産 の 部		
流 動 資 産	9,863	9,811
現金及び預金	3,173	3,041
売掛金	160	149
たな卸資産	5,707	5,860
その他	823	760
貸倒引当金	△1	△1
固 定 資 産	4,448	2,910
有 形 固 定 資 産	2,565	1,275
建物	740	71
土地	1,470	1,163
リース資産	260	0
その他	94	39
無 形 固 定 資 産	169	92
投 資 そ の 他 の 資 産	1,714	1,542
投資有価証券	89	76
差入保証金	1,558	1,457
その他	66	8
資 産 合 計	14,312	12,722

貸借対照表に関する注記

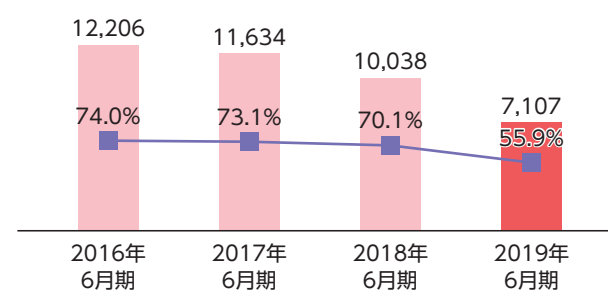
資産に係る減価償却累計額を直接控除した各資産の資産項目別の減価償却累計額

1.建物	1,558百万円
2.その他	
①構築物	194百万円
②車両運搬具	15百万円
③器具及び備品	310百万円
3.リース資産	400百万円

(単位：百万円)

科 目	2018年 6月期	2019年 6月期
負 債 の 部		
流 動 負 債	2,956	3,441
支払手形	70	66
電子記録債	850	918
買掛金	638	644
短期借入金	—	450
リース負債	165	127
未払法人税等	567	550
未払消費税等	181	173
賞与引当金	31	15
ポインツ引当金	45	60
その他	405	434
固 定 負 債	1,317	2,173
長期借入金	—	1,050
リース負債	265	147
役員退職慰労引当金	246	206
資産除去費	493	534
その他	311	234
負 債 合 計	4,273	5,614
純 資 産 の 部		
株 主 資 本	10,016	7,096
資本金	2,375	2,375
資本剰余金	56	56
利益剰余金	7,585	4,665
自己株式	△0	△0
評価・換算差額等	22	10
純 資 産 合 計	10,038	7,107
負 債 ・ 純 資 産 合 計	14,312	12,722

●純資産額／自己資本比率 (単位：百万円)
■ 純資産額 ■ 自己資本比率



Point 2
負債・純資産

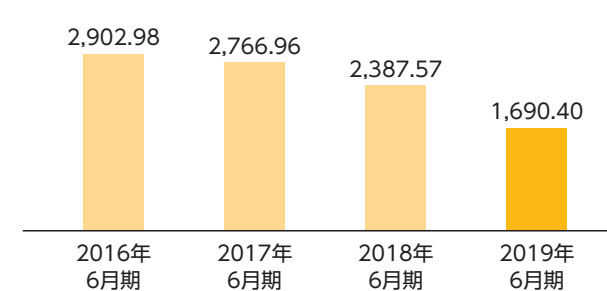
流動負債は、主に短期借入金が4億50百万円増加しましたことにより、前事業年度末に比べ4億84百万円増加し、34億41百万円となりました。

固定負債は、リース債務が1億18百万円減少しましたものの、長期借入金が10億50百万円増加したことにより、前事業年度末に比べ8億56百万円増加し、21億73百万円となりました。

この結果、当事業年度末の負債合計は、前事業年度末に比べ13億40百万円増加し、56億14百万円となりました。

当事業年度末の純資産合計は、主に利益剰余金が29億19百万円減少しましたことにより、前事業年度末に比べ29億31百万円減少し、71億7百万円となりました。

●1株当たり純資産額 (単位：円)



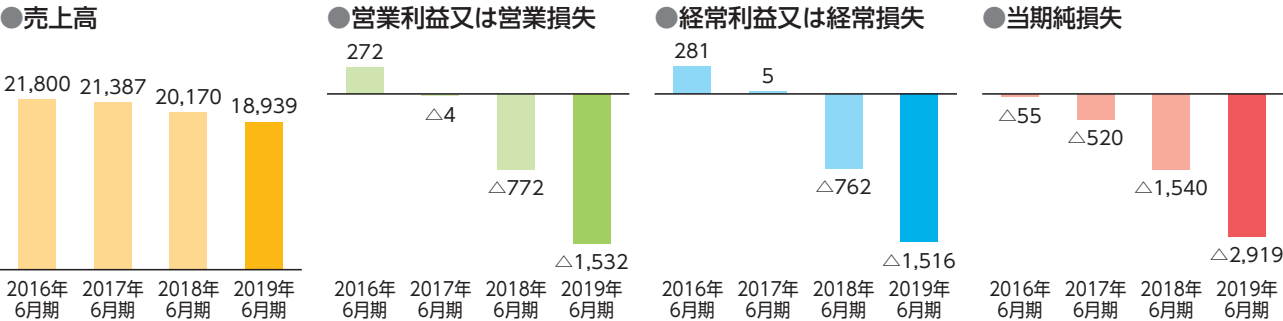
◆キャッシュ・フロー計算書の要旨
(単位：百万円)

科 目	2018年 6月期	2019年 6月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	△994	△1,369
投資活動によるキャッシュ・フロー	△294	△75
財務活動によるキャッシュ・フロー	△257	1,333
現金及び現金同等物の増減額	△1,546	△112
現金及び現金同等物の期末残高	3,093	2,981

◆損益計算書
(単位：百万円)

科 目	2018年 6月期	2019年 6月期
売 上 高	20,170	18,939
売 上 原 価	7,854	7,872
売 上 総 利 益	12,316	11,066
販売費及び一般管理費	13,088	12,598
営 業 損 失 (△)	△772	△1,532
営 業 外 収 益	19	31
営 業 外 費 用	10	15
経 常 損 失 (△)	△762	△1,516
特 別 利 益	5	26
特 別 損 失	410	1,352
税引前当期純損失 (△)	△1,168	△2,843
法人税、住民税及び事業税	139	138
法 人 税 等 調 整 額	232	△62
当 期 純 損 失 (△)	△1,540	△2,919

業績の推移 (単位：百万円)



第43回 2019 日本ホビーショー

4月25日～27日東京ビッグサイトで開催された「第43回 2019日本ホビーショー」

Art&Heart 2019 ハンドクラフトフェア in NAGOYA

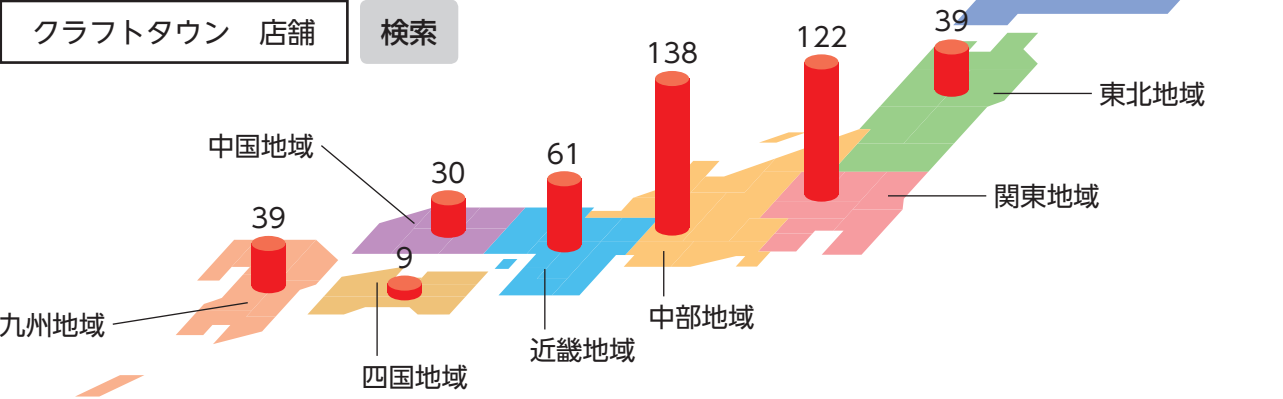
6月21日・22日名古屋市の吹上ホールで開催された「ハンドクラフトフェア in NAGOYA」

両イベント共に、講習を中心としたブースで出展しました。
「風呂敷パッチンバッグ」、「UVレジンチャーム」、「クライ・ムキ式ソーイングスクール」などに多数の御来客がありました。

地域別・業態別店舗の状況 (2019年6月30日現在)

手芸専門店	生活雑貨店	合計
436	15	451

※店舗の所在地等は、当社クラフトタウンホームページ
<https://www.crafttown.jp/>の店舗案内でご確認いただけます。



▶ 配当政策

当社は、全国展開する店舗網の拡充・強化により、継続的な事業の拡大と経営基盤の確立を目指すため、キャッシュ・フローを重視したローコスト経営の推進で収益力の向上に努めるとともに、長期的な視点で健全な財務体質の維持・強化を図るほか、利益配分につきましては収益の状況や配当性向を総合的に勘案したうえ、利益還元を行うこととしております。

しかしながら、当事業年度においては、営業損失、経常損失及び当期純損失の計上となりましたため、誠に遺憾ながら無配といたしました。

▶ 株主優待情報

当社では、株主の皆様の日ごろからのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの株主に中長期的に保有していただくこと、さらには当社製品をより身近に感じていただくことを目的とし、株主優待制度を導入しております。

対象株主様

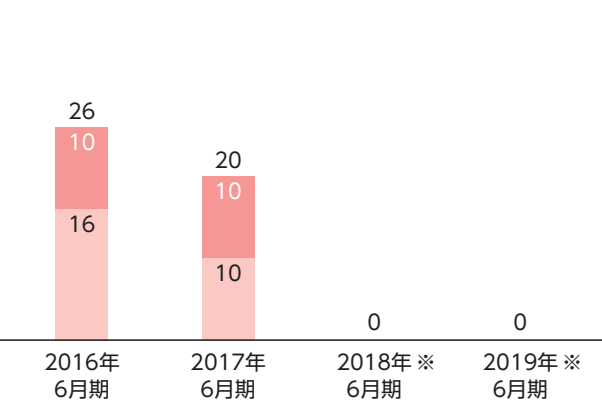
毎年6月30日及び12月31日現在、100株以上ご所有の株主様

贈呈基準

100株以上
お買物優待券（券面額500円）を5枚



● 1株当たり年間（中間）配当金（単位：円）



※2018年6月期、2019年6月期は無配

取扱店舗

当社経営の全店舗
（通信販売・インターネット販売にはご利用いただけません）

有効期間

6月30日現在の株主様
送付時期9月末→ご利用期間翌年1月末まで
12月31日現在の株主様
送付時期3月初旬→ご利用期間6月末まで

※本年度より、9月末に送付する優待券の有効期間を翌年1月末までに変更いたしました。

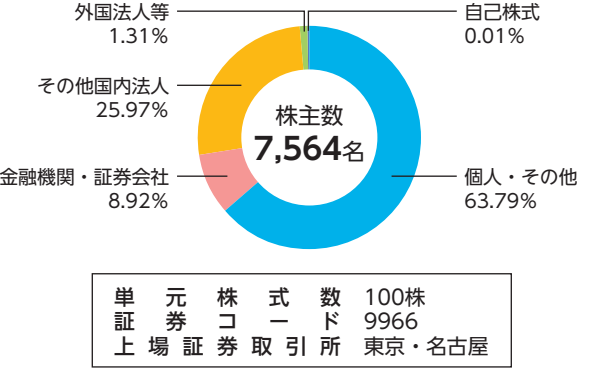
発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数 (自己株式434株を含む。)	4,205,000株
株主数	7,564名

◆所有者別株主数状況

区 分	株主数(名)	比率(%)
個人・その他	7,427	98.19
金融機関・証券会社	38	0.50
その他国内法人	75	0.99
外国法人等	23	0.31
自己株式	1	0.01

◆所有者別株式数状況

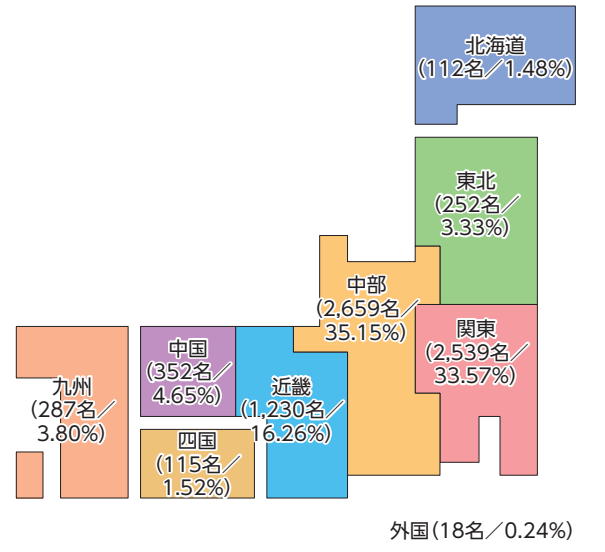
区 分	持株数(千株)	比率(%)
個人・その他	2,682	63.79
金融機関・証券会社	374	8.92
その他国内法人	1,092	25.97
外国法人等	55	1.31
自己株式	0	0.01



◆大株主（上位10名）

株 主 名	持株数(千株)
後 藤 薫 徳	845
GOTO株式会社	844
藤久取引先持株会	308
藤久従業員持株会	184
中 野 置瀬子	85
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	69
株式会社名古屋銀行	57
株式会社愛知銀行	57
株式会社スペース	34
株式会社北陸銀行	32

◆地域別分布状況



》 会社のプロフィール

◆会社概要 (2019年6月30日現在)

商 号 藤久株式会社 (FUJIKYU CORPORATION)
本 店 所 在 地 名古屋市名東区高社一丁目210番地
設 立 1961年3月1日
資 本 金 23億7,585万円
従 業 員 223名
※嘱託及びパートタイマーは含まれておりません。
事 業 内 容 当社は、手芸用品・衣料品及び服飾品その他関連する生活雑貨等の企画・販売を主要業務とし、主に手芸専門店及び生活雑貨専門点をチェーン展開するほか、インターネット等を媒体とする通信販売も行っております。
店舗販売部門
手芸専門店：クラフトハートトーカイ、クラフトワールド、クラフトパーク、クラフトループ、キャランキャラン
生活雑貨専門店：サントレーム
通信販売部門
ネット媒体：クラフトハートトーカイ（ドットコム）
シュゲール（楽天店、ヤフー店、アマゾン店）
サントレーム（楽天店、ヤフー店）
ジャストパートナー（楽天店、ヤフー店）
D M 媒 体：シュゲール、ジャストパートナー
事 業 所 本 社 名古屋市名東区高社一丁目210番地
TEL (052) 774-1181 (代表)
第2ビル 名古屋市名東区猪子石二丁目1607番地
店 舗 合計451店舗
主要取引銀行 三菱UFJ銀行 名古屋銀行 愛知銀行 北陸銀行 三井住友信託銀行



◆役員 (2019年9月26日現在)

代表取締役社長	後 藤 薫 徳	※取 締 役	柘 植 里 恵
常 務 取 締 役	樹 神 雄 二 (商品部、通販部担当)	※取 締 役	小 川 洋 子
取 締 役	伊 藤 伸一郎 (総務部、人事部担当)	※常 勤 監 査 役	伊 藤 珠 実
取 締 役	木 浦 潮 (第一運営部、第二運営部、店舗開発室担当)	※監 査 役	坂 野 郁 夫
取 締 役	飯 田 利 彦 (経理部、情報システム部、オムニ推進室担当)	※監 査 役	福 海 照 久

(注) ※印の5名は、社外役員であります。

》 株主メモ

事 業 年 度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定 時 株 主 総 会	毎年9月
基 準 日	定時株主総会・期末配当：毎年6月30日 中間配当：毎年12月31日
株 主 名 簿 管 理 人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 場 所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電 話 照 会 先)	TEL (0120) 782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の全国本支店で行っております。
公 告 方 法	電子公告により行います。ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 公告掲載URL https://www.fujikyū-corp.co.jp/

株式に関するお手続きのお問い合わせ先

お手続き内容	口座の種類	証券会社の口座に記録された株式	特別口座に記録された株式*
住所変更、単元未満株式買取請求、配当金の受領方法・振込先のご変更などの各種手続		口座を開設されている証券会社	
郵送物の発送と返戻に関するご照会		三井住友信託銀行 証券代行部 ☎0120-782-031	三井住友信託銀行 証券代行部 ☎0120-782-031
支払期間経過後の配当金に関するご照会			
株式事務に関する一般的なお問い合わせ			

※株券電子化実施（2009年1月5日）に際し、証券会社等に口座を開設し、証券保管振替機構（ほふり）に株券を預託されなかった株主様のお名前、ご住所などのデータは、当社が三井住友信託銀行に開設した「特別口座」に記録されております。